

足柄上病院 小児科専門医研修カリキュラム

<p>研修目的</p>	<p>新生児をはじめとする小児期のダイナミックな生理的変化を十分理解し、小児科特有の疾患に対する迅速かつ適確な診断及び治療する力を身につける。 Total Life Careの出発点となる小児科医が習得すべき素養を身につける。 日本小児科学会専門医資格の取得を目指す。</p>						
<p>研修目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小児科患者の問診・診察・診断法及び基本的治療手技を習得する 2 小児の発達・成長と、それに伴って変化する生理的特性を理解する 3 専門医の指導の下に、いわゆるcommon diseasesの治療を行う 4 専門医の指導の下に一般外来・救急外来で診察を行い、外来における小児診療の知識と技術を習得する 5 地域の子育て支援課、保健福祉センター、児童相談所などと連携して、小児の保健・予防医学をはじめとする社会小児科学を学ぶ 6 一般診療を通じて産科をはじめ眼科・外科など全ての診療科との連携が必要であることを理解し、小児科医が個々の患者様の全体像を把握して治療の中心的役割を果たす必要があることを理解する 7 患児のみならず、そのご両親やご家族に対し全人的医療を行えるようになる 8 地域社会とのつながりを体験し、社会における小児科医の役割と責任について考える 9 学会報告や症例報告などを通じ臨床の知識を深めるとともに、臨床研究を行う 						
<p>年度別到達目標</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="225 943 304 1339" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>1 年 目 到 達 目 標</p> </td> <td data-bbox="304 943 1383 1339"> <p>地域病院で一般小児科診療を経験し、小児の一般的な疾患について適確な診断を行うことが出来る。</p> <p>小児保健や予防医学を通じて社会のシステムを理解するとともに、その中心的役割の一翼を担う。</p> <p>重症小児の全身管理を行えるようになる。</p> <p>患者様だけでなくそのご家族の立場を考えた全人的医療の実践を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1339 304 1736" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>2 年 目 到 達 目 標</p> </td> <td data-bbox="304 1339 1383 1736"> <p>神奈川県立こども医療センターで小児科領域における高度先進医療を学ぶ。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="225 1736 304 2085" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>3 年 目 到 達 目 標</p> </td> <td data-bbox="304 1736 1383 2085"> <p>同 上</p> </td> </tr> </table>	<p>1 年 目 到 達 目 標</p>	<p>地域病院で一般小児科診療を経験し、小児の一般的な疾患について適確な診断を行うことが出来る。</p> <p>小児保健や予防医学を通じて社会のシステムを理解するとともに、その中心的役割の一翼を担う。</p> <p>重症小児の全身管理を行えるようになる。</p> <p>患者様だけでなくそのご家族の立場を考えた全人的医療の実践を行う。</p>	<p>2 年 目 到 達 目 標</p>	<p>神奈川県立こども医療センターで小児科領域における高度先進医療を学ぶ。</p>	<p>3 年 目 到 達 目 標</p>	<p>同 上</p>
<p>1 年 目 到 達 目 標</p>	<p>地域病院で一般小児科診療を経験し、小児の一般的な疾患について適確な診断を行うことが出来る。</p> <p>小児保健や予防医学を通じて社会のシステムを理解するとともに、その中心的役割の一翼を担う。</p> <p>重症小児の全身管理を行えるようになる。</p> <p>患者様だけでなくそのご家族の立場を考えた全人的医療の実践を行う。</p>						
<p>2 年 目 到 達 目 標</p>	<p>神奈川県立こども医療センターで小児科領域における高度先進医療を学ぶ。</p>						
<p>3 年 目 到 達 目 標</p>	<p>同 上</p>						

指導体制	日本小児科学会専門医、日本小児アレルギー学会専門医 担当指導医の監督の下に、入院患者の主治医として診断・治療を行う 週2回の臨床カンファレンスにより他の専門医の助言を受ける
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 カンファレンス(週2回)、抄読会(週1回)への参加 2 外来研修 <ul style="list-style-type: none"> 一般小児科外来 :週2回診療 小児科専門外来立会い:乳児検診、予防接種、循環器、腎臓、アレルギー 外来検査 :心エコー、腎エコーなど 3 病棟研修 <ul style="list-style-type: none"> 入院受持ち患者の診察、診療録記載、退院記録記入 カンファレンスでの症例提示 入院検査などのオーダー、立会い 4 当直業務:月2～3回 5 院内勉強会への参加 <ul style="list-style-type: none"> 院内CPC、院内医療安全講習会、院内感染対策など 6 足柄上医師会症例検討会への参加 7 日本小児科学会神奈川地方会への参加 8 日本小児科学会総会、分科会などへの参加
研修評価方法	指導医による評価を随時行う。適宜研修プログラムの調整を行い、偏りの無い研修とし、小児科専門医の取得を目指す。